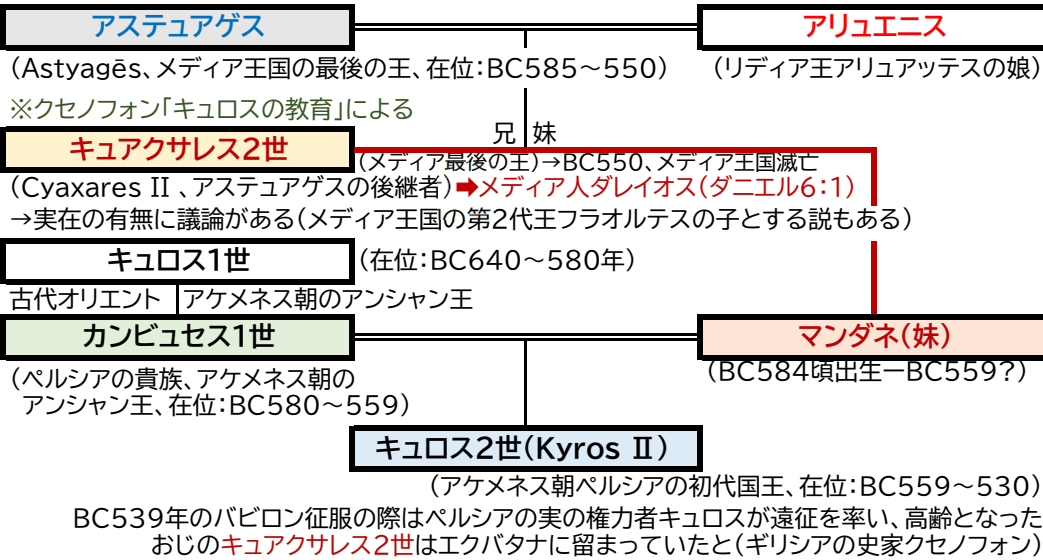


アステュアゲスからキュロス2世までの相関図(概略)等 古代ギリシア・アテナイの軍人、哲学者、著述家クセノフォン「キュロスの教育」による



◎**キュアクサレス2世**は、メディア最後の王である。キュアクサレス2世をダニエル書6:1に登場する**メディア人ダレイオスDarius the Mede**と見做す説がある。

㊦ダニエル書9:1の「**ダレイオス**」≠クセルクセス(=アハシュエロス)1世

◎BC612、バビロンとメディアの連合軍によって首都ニネベを占領され、アッシリア帝国陥落、609年以降は弱体化した(ゼファニア書2:13)。

◎王位を脅かされることを恐れた**アステュアゲス**(暴君)は、娘の**マンダネ**をメディア人ではなく、あえて格下のペルシア貴族カンピュセス1世に嫁がせた。

◎不吉な夢を見た**アステュアゲス**は、部下のメディア人貴族ハルパゴスに、**マンダネ**の胎内にあった**キュロス2世**を生まれてすぐに殺すよう命じた。ハルパゴスは幼子を殺すに忍びず、牛飼いに赤子を渡したとされている。

◎キュロス2世は成長し、メディアの属国ペルシアの支配者になり、やがて**アステュアゲス**に反旗を翻した。**アステュアゲス**はハルパゴスを大将に討伐軍を差し向けたが、残忍な**アステュアゲス**を嫌ったハルパゴスは部隊ごとペルシアに寝返った。**アステュアゲス**自らが討伐に向かったが、パサルガダエ近くの戦いで**キュロス2世**に敗北し、捕虜になった。こうしてメディア王国は滅亡した(BC549)。

【参考】ナボニドスの年代記(キュロスの覇権についての貴重な史料)
新バビロニア帝国の最後の王、ナボニドスの治世を扱っており、内容にはペルシア帝国の**キュロス大王**によるバビロン征服に関する記述を含み、**カンピュセス1世**の治世が始まるところで終わる。時期としてはBC556年からBC539年までの範囲である。

【参考】アッシリア帝国滅亡後の4国分立時代(BC600年頃)

